

「落語と私」 その弐拾壱

三代目 橋ノ百圓

先月は、無断で休筆致しまして、スビバセンです。何しろ暑くて、思う様にペンが進まないのです。テナ訳で、早目に白旗を挙げてしまいました。この処いくらか涼しい風も吹いて来たので、10月号の投稿致します。

今回は、10月27日(日)に開催致します「小天狗よつたりかい四人会」のお知らせと、宣伝をさせていただきます。

第29回
小天狗よつたり会

【 番組 】

一. ぜんざい公社 橋ノ百圓
一. 粗忽長屋 柳花楼扇生
一. かたきの首 めずらし家芝楽

—お仲入り—

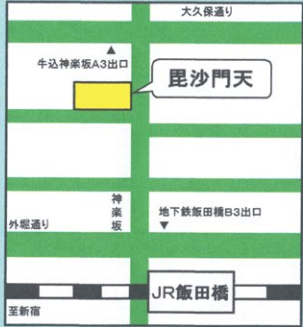
一. 寄席の唄 福岡民江
一. 睨み返し 橋ノ百圓

◇ お囃子: 福岡民江 社中 ◇

◇ とき
令和元年10月27日(日)
午後2時 開演

◇ ところ
神楽坂・善国寺
「毘沙門天ホール」
飯田橋・西口、
地下鉄飯田橋B3、
牛込神楽坂A3出口

◇ 木戸銭
500円
*お問合せ: 小田島(扇生)
03-3451-3717



この四人会は、今年の1月号にも書きましたが、年一度の大切な会で、私は必ず根多おろしに挑戦しています。(初回は持根多でしたが)第2回から第28回までの根多の紹介は、またの機会に譲るとして、とにかく4人それぞれが、人情噺から滑稽噺、又、「つる」の様な極短かい噺から、「文七元結」の様に約1時間近い噺まで、実に多岐わたに亘っております。前回までに出た、130以上の噺を避けて、改めて根多おろしとなりますと悩みますネ。

当然、他の方と同じ様な噺にならない事も条件の一つですが、ただ今回は私が真打まうちと言う事で、開口一番も務めるのですが、先ず私が二つの噺を2人に伝え(近頃は、四人会新年会の2月11日が多いですネ)それから、それぞれの方がそれを参考に根多を決める訳です。

今回の私の根多は、開口一番が「ぜんざい公社」真打根多が、「睨み返し」の二席です。前根多の「ぜんざい公社」は、元は「改良善哉」と言う噺で、大阪の桂文三ぶんざいさんが作った古典的新作噺で、落げも大分違っ

ていたものを、今の様に改作され、広く東京でも多くの噺家さんが演る様になりました。国がぜんざい
公社と言う、食堂を造り、国営の甘味処で、ぜんざいを食べさせる、極バカバカしい噺です。

真打の「睨み返し」は、暮も大晦日の噺で、借金取り撃退法の噺です。三代目柳家小さん師が、大阪の
桂文吾さんから教わって、東京へ移した柳家の噺。私も先代小さん師匠のを数回聴きました。現在では、
人間国宝の小三治師匠が演りますが、同じ柳家で、小里ん師匠の噺も中なかですヨ！

外に柳花楼扇生さんの「粗忽長屋」、めずらし家芝楽さんの「かたきの首」と言う新作と民江さんの「寄
席の唄」、興味のある方は、令和元年10月27日、午後2時の開演です。場所は、神楽坂の善国寺「毘沙
門ホール」です。地図を載せますので、是非ご来場ください。心よりお待ちしております。



毘沙門天 善国寺

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>